

祈願から、佇まいへ。

京都の染色技術が生む新しい「だるま」

京友禅の手仕事をデニムに重ねる、京都デニム（有限会社豊明、所在地：京都市下京区、代表取締役：桑山豊章）は、京都の染色技術を現代の暮らしに接続する新たな工芸品として、伝統的な縁起物「だるま」を再編集した「京都デニムだるま」を、2026年3月23日（月）より発売いたします。願いを託す象徴から、空間に静かに佇む存在へ。

京友禅の技を生かし、現代の感性に寄り添う“一点物の工芸”として提案します。



京都の伝統工芸を「現代の表現」として世界へ

「京都デニムだるま」は、江戸時代から続く京友禅染工房の家系に生まれた職人 桑山豊章が、伝統技術を未来へつなぐために生み出した工芸品です。

着物を着る機会の減少に伴い、職人の技術が活かされる場は年々減少しています。そうした中で、京友禅の高度な技術を、世界中で親しまれているデニム素材へと応用。伝統工芸を保存するだけでなく、現代の暮らしの中で使われる存在へと再構築しました。

京都で受け継がれてきた染色技術を、次世代へとつなぐ新たな試みです。

【発売情報】

商品名：京都デニムだるま
発売日：2026年3月23日（月）
税込価格：【49,500円／79,200円／128,700円】
【mini高さ：16cm／Regular高さ：21cm／Grande高さ：26cm】
販売場所：京都デニム ショールーム（京都駅前）
京都デニムオンラインショップ
<https://www.kyoto-denim.jp>
素材：金彩友禅技法デニム生地・紙・牛革・ナイロン・金属パーツ



金彩友禪の技を、デニムの立体へ

最大の特徴は、振袖などにも用いられる金彩友禪の技法です。職人が一点ずつ、デニムに直接模様を染め、金の重なりやにじみによって、光の当たり方で表情を変える繊細な輝きを生み出しています。

従来のだるまのような強い象徴性を抑え、着物文化に通じるやわらかな色彩と繊細な装飾によって構成されたデザインは、現代のインテリアにも自然に溶け込みます。

均一な製品ではなく、一体ごとに異なる表情を持つ“一点物の工芸”として、その個性が価値となります。



京都らしい贈り物としての提案



京都デニムだるまは、単なる縁起物ではなく、大切な人の幸せを願いながら、その日常に静かに寄り添う存在として設計されています。

開業祝いや就任祝いなどの法人贈答において、従来の胡蝶蘭や観葉植物に代わる選択肢として。また、人生の節目や新生活のはじまりに、意味を押し付けない「京都らしい贈り物」として提案します。

日本の工芸を、次世代と世界へつなぐ
本製品は、時代に合わせて姿を変えながら、京都の伝統を次世代へ、そして世界へとつなぐ存在を目指しています。

訪日外国人に向けた「新しい京都土産」

近年、訪日外国人にとって日本での買い物は、単なる消費ではなく「文化体験の持ち帰り」へと変化しています。

京都デニムだるまは、だるまという日本的モチーフと、デニムというグローバルな素材を融合させることで、“いまの日本の工芸”として伝わる存在です。

京都らしさを感じられる土産品として、海外へのギフトや旅の記憶としても展開しています。



**KYOTO
DENIM**
Japanese Artistry

KYOTO DENIM

KYOTO DENIM は、京友禪の染色技術をデニムに応用し、バッグやアートピースを制作する京都発のクラフトブランドです。伝統を守るだけでなく、現代素材と結びつけることで、新しい工芸のかたちを提案しています。